

あなたに伝えたい！

上津役思いやりプラン

・ 住民発！上津役校区小地域福祉活動第一次計画 ・



2016年～2020年

 いわねネットワーク

上津役校区社会福祉協議会

住民発！ ^{こうじゃく}上津役校区小地域福祉活動第一次計画

あなたに伝えたい！「上津役思いやりプラン」

も く じ

ごあいさつ	1
第1章 計画策定にあたって	2
1 計画の性格	
2 計画の期間	
3 計画の策定経過	
第2章 上津役校区の現状と課題	3
1 地域社会の動向	
2 地域の福祉課題	
第3章 計画体系	8
1 基本理念	
2 基本目標	
3 実施項目（体系図）	
4 重点実施項目	
第4章 計画の推進	12
1 計画の承認と周知	
2 計画を推進するための体制	
3 第二次計画の策定	
4 推進委員会	
参考資料	13
1 策定委員会名簿	
2 策定委員会での協議事項	

住民発！ 上津役校区小地域福祉活動第一次計画

あなたに伝えたい！「上津役思いやりプラン」

計画策定のおもい

こうじゃく
上津役校区の福祉活動には日頃よりご理解ご協力くださり厚く御礼申し上げます。

上津役校区社会福祉協議会は昭和49年5月に結成され43年目を迎えます。この間、先達諸氏のご努力で福祉の安全・安心のシステムは確立され、生活するのに快適な地域のひとつになっているものと評価いたします。

3年程前から高齢化の急な進行（例えば、一人暮らし高齢者世帯が一挙に増加、福祉協力員の高齢化が進むなど）また、価値観の多様化に伴い義務をないがしろにして権利を主張する住民の増加などで当校区にも幾つかの小さな歪が生じ、この先大きな歪に変化するのではないかと福祉関係者ばかり



でなく、まちづくりに関係するみんなが心配しております。

そこで、31人の策定委員を選出し、今後の校区福祉活動指針の検討を行うべく「小地域福祉活動計画づくり」に取り組みました。策定委員からは有用な意見が多数提言されるなど活発な議論が交わされました。

1年をかけ福祉行動指針の再構築を図り、後述の「あなたに伝えたい！上津役思いやりプラン」を作成いたしました。

その中から現状の地域課題にてらし「福祉人材の確保」および、「高齢者の居場所づくり・高齢者サロンを小地域に設置」の2項目を重点実施項目に選定し、平成28年度から実行いたします。

実行にあたっては住民各位の絶大なるご協力をお願いいたします。

平成28年 4月 25日

上津役校区社会福祉協議会
会長 久保田 雅晴

第1章 計画策定にあたって

1 計画の性格

(1) 住民発信の行動計画

この計画は、上津役校区の様々な福祉課題を解決するために、住民や民間団体が将来の見通しを持って計画的に活動しようとするための民間の行動計画です。

(2) 小地域の生活を支える計画

この計画は、上津役校区に住む人たちの「生活」を支えることを活動の原点とする計画です。

(3) 北九州市及び北九州市社会福祉協議会・八幡西区社会福祉協議会と協働する計画

この計画は、北九州市及び北九州市社会福祉協議会・八幡西区社会福祉協議会の計画と連携しながら地域福祉活動を進めていく計画です。

(4) 上津役校区社会福祉協議会の活動指針となる計画

この計画は、社会福祉協議会が地域福祉推進の中核的な団体としての方針や発展強化の道筋を明らかにする性格を有します。

2 計画の期間

平成28年度から平成32年度までの5ヵ年とします。計画の期間中、地域を取り巻く状況に大きな変化があれば、見直しを行います。

3 計画の策定経過

上津役校区では、地域福祉活動に取り組んでいる関係機関・団体等からの意見を踏まえ、民間の地域福祉に関する計画を策定するため、平成27年6月22日の策定委員人選会議を経て、上津役校区小地域福祉活動計画策定委員会を設置しました。市・区・校(地)区社協の協働による全3回の「ふくしプランニング工房」研修会と、31名の委員による、8回にわたる計画策定委員会での協議を通し、「上津役校区小地域福祉活動第一次計画」を策定しました。(参考資料を参照)



第2章 上津役校区の現状と課題

1 地域社会の動向

(1) 上津役校区基本データ

① 上津役校区の年代別人口・世帯数

(平成 27 年 9 月 30 日現在の住民基本台帳による)

市 区 校区 町別	世帯数 (世帯)	人口 (人)	14歳以下		15歳～64歳		65歳以上		65歳～74歳		75歳以上	
			(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)
			北九州市	475,430	972,192	124,273	12.8	571,240	58.8	276,674	28.5	141,031
八幡西区	121,878	259,169	35,355	13.6	153,830	59.4	69,982	27.0	36,143	13.9	33,839	13.1
上津役校区	5,410	12,153	1,718	14.1	6,962	57.3	3,473	28.6	1,817	15.0	1,656	13.6
市瀬一丁目	467	1,007	126	12.5	619	61.5	262	26.0	154	15.3	108	10.7
市瀬二丁目	271	563	68	12.1	347	61.6	148	26.3	73	13.0	75	13.3
市瀬三丁目	180	375	29	7.7	225	60.0	121	32.3	77	20.5	44	11.7
上の原一丁目	319	677	62	9.2	362	53.5	253	37.4	139	20.5	114	16.8
上の原二丁目	363	784	101	12.9	447	57.0	236	30.1	127	16.2	109	13.9
上の原三丁目	465	1,272	332	26.1	754	59.3	186	14.6	96	7.5	90	7.1
上の原四丁目	562	1,284	168	13.1	727	56.6	389	30.3	202	15.7	187	14.6
上上津役一丁目	392	903	123	13.6	512	56.7	268	29.7	141	15.6	127	14.1
上上津役二丁目	581	1,372	218	15.9	817	59.5	337	24.6	178	13.0	159	11.6
上上津役三丁目	519	1,100	136	12.4	642	58.4	322	29.3	163	14.8	159	14.5
上上津役五丁目	382	883	106	12.0	483	54.7	294	33.3	148	16.8	146	16.5
上上津役六丁目	163	375	34	9.1	201	53.6	140	37.3	83	22.1	57	15.2
中の原一丁目	227	473	61	12.9	248	52.4	164	34.7	80	16.9	84	17.8
中の原二丁目	229	452	36	8.0	202	44.7	214	47.3	79	17.5	135	29.9
中の原三丁目	290	633	118	18.6	376	59.4	139	22.0	77	12.2	62	9.8

② 上津役校区の自治区会別高齢化率

自治区会	人口(人)	65歳以上(人)	高齢化率(%)
市瀬自治区	1,945	531	27.3
上の原自治区	4,017	1,064	26.5
小野田自治区	1,100	322	29.3
中の原自治区	1,558	517	33.2
馬場自治区	2,275	605	26.6
足水自治区	1,258	434	34.5
合計	12,153	3,473	28.6

※町丁別の年代別人口表の高齢化率で見ると、校区内 15 地区の内、市平均を下回るのは新興住宅地等を含む 4 カ所のみです。他の 11 カ所は軒並み高い高齢化率となっており、特に高い中の原二丁目を筆頭に 8 カ所の地区では概ね 3 人に 1 人以上が高齢者という状況となっています。

広範な上津役校区は、それぞれに地域性を持つ 6 つの自治区会から構成されており、各地区に応じた活動の充実、拠点づくりが必要といえます。

③ 上津役地域の社会資源など

(策定委員会調べ)

分類	区分	名称 (正式名称でないものも含まれます。)
教育関係	幼稚園	緑ヶ丘幼稚園、上津役幼稚園
	小学校	上津役小学校
	中学校	上津役中学校
保育関係	保育所	新栄ひまわり保育園 (町上津役)
	放課後児童クラブ	上津役児童クラブ
医療機関	内科	福地内科循環器科、上の原クリニック、明石クリニック、もりぞの内科
	外科、眼科	福留外科胃腸肛門科、ふるた整形外科、しゅう眼科
	歯科	たかとり歯科、たかデンタルクリニック、めぐみ歯科、やまぐち歯科、しもかわ歯科、宮崎歯科
地域活動拠点	市民センター	上津役市民センター
	小地区公民館	市瀬、上の原、小野田、中の原、足水、馬場
	年長者いこいの家	上津役いこいの家、上の原年長者いこいの家、小野田いこいの家
	町内会集会所	上の原 (5町会、7町会、8町会)、ホワイトキャッスル (上の原)、小野田
	その他	鷹見神社 (市瀬)、涼天満宮 (上の原)、熊野神社 (足水・馬場)
主な公園	市瀬公園 (市瀬地区)、上の原公園 (上の原地区)、上上津役三丁目北公園 (小野田地区)、中の原東公園 (中の原地区)、上津役公園 (足水地区)、上上津役5号公園 (馬場地区)、	
官公署等	地域包括支援センター八幡西5、八幡西区役所上津役出張所、消防第七分団、消防第八分団	
主な福祉施設	ワールドデイサービス、つなぐ、小規模多機能施設・きらめき上の原、オーパル愛上の原、グローバルケアII、さわやかレイクサイド中の原、デイサービスあひる、こうじゃくの杜、もりぞのデイサービスセンター	
その他	JA北九八幡支店、八幡上津役郵便局、マックスバリュ上の原店、トライアル上津役店、ホームプラザナフコ上津役店、ホリデイスポーツクラブ、ヤマダ電機、上津役変電所、養福寺貯水池	

(2) 地域の特性

上津役校区は、八幡西区の中南部に位置し、南は福智山につながる帆柱山系の西側にあたる坂の多い丘陵上の地形です。黒崎より筑豊方面へ延びる国道211号線沿いに市街地が広がり、近年、新興住宅地やマンション等の開発とショッピングセンターや商業店舗などの出店により、若い世代も増えてきましたが、その他は古くからの一戸建住宅を中心とした閑静な住宅街が広がっています。利便の良い市街地である一方、割子川や金山川の上流部にあたるホタルの見られる清流やイノシシやサルなどが生息する山々を望む自然豊かな面もあり、「鷹見神社」「熊野神社」「涼天満宮」と歴史のある神社が三社もあり、さらには、室町時代の城「竹ノ尾城」の城跡を見ることがもできます。



明治26年(1893年)に開設された上津役小学校は122年の歴史を有し、地域には



三世代が学んでいるという家庭も多いことから、保護者や地域住民等の学校への思いは強く、「地域ぐるみで子どもを育てよう」という雰囲気があり、上津役市民センターを中心に様々な子育て支援事業にも取り組んでいます。また、隣近所の付き合いや助け合いの風土も色濃く残っている地域といえます。

2 地域の福祉課題（および小地域福祉活動の課題）

上津役校区では近年、マンションや新興住宅地の開発等で若年層人口が若干増えてきてはいるものの、依然として、北九州市の平均よりも高齢化率は高く、特に古くからの住宅地や集合住宅には高齢者が多く、また、高齢者の独居や高齢者のみ世帯、昼間一人のみ世帯などが急増し、閉じこもりがちの人も増えています。

上津役校区社協では平成6年からふれあいネットワーク活動による地域の見守りや声かけ、助け合い活動などを推進し、福祉協力員や民生委員児童委員、自治会関係者等との連携により、高齢者や障害者等の支援をはじめ、子どもの健全育成や地域の活性化を目的とした様々な事業に取り組んできました。

しかし、近隣や地域との関わりを持ちたがらない住民の増加や、地域活動の基盤組織である自治会への加入率低下など、人と人とのつながりやふれあいが希薄化し、活動者自身も高齢化しているなか、ますます複雑化・多様化する地域福祉ニーズへの対応が困難になってきています。



〔参 考〕 策定委員会で出された上津役地域についての主な意見

1 上津役のよいところ

① 人が良い

- ・隣近所で協力し合う風土やあいさつを交わす習慣が残っている。
- ・子どもたちもよくあいさつをする。地域の行事にもボランティアで参加。
- ・婦人部の女性たちが元気で明るい。
- ・老人会が積極的に活動している。クラブや同好会活動も盛ん。

② 自然が豊か

- ・登りやすい山（金鉱山、建郷山、権現山）やウォーキングコースがたくさんある。
- ・ホテルを見ることのできる清流が流れている。
- ・山や緑が豊かで、動物（サル、イノシシ、タヌキ等）がいる。
- ・歴史ある神社仏閣や史跡などがたくさんある。

③ 住環境が良い

- ・地区の中央を国道が通り、交通の便が良い。
- ・スーパーや商業施設、飲食店などが多く買い物に便利。
- ・公園や遊び場が多く、事件、事故の少ない安全で安心なまち。
- ・病院や老人福祉施設が多い。

④ 行事、イベントが多い

- ・神社仏閣などでのお祭りや伝統行事が盛んで、たくさんの人が集まる。
- ・市民センターを中心に、自治会・まち協・社協が協力して様々な行事を開催。
- ・地域で公園美化、花壇づくり、河川清掃に取り組んでいる。
- ・ラジオ体操や健康づくりの取り組みがある。

⑤ 地域で子どもを見守っている

- ・宅地やマンションの開発で若い人や子どもたちが増えた。
- ・子どもたちが落ち着いている（家庭や地域でかわいがられている）。
- ・三世代が通う歴史ある上津役小学校に地域住民が愛着を持っている。
- ・子どもの見守り活動や行事に地域住民が協力的。



2 上津役の気になるところ（現状・課題）

① 高齢化と健康不安

- ・高齢者が増えた（一人暮らし、高齢者のみ世帯、昼間高齢者のみ世帯）。
- ・日常生活（ゴミ出し、買い物、草取り等）に支障のある高齢者が増えた。
- ・一人暮らしでさみしい。健康に不安があり、いざという時が心配。
- ・認知症の高齢者が増えているように思われる。

② 人間関係の希薄化

- ・自治会の未加入者が増えてきた。
- ・近所づきあいが減ってきた。（付き合いを嫌がる。顔を知らない。情報がない。）
- ・地域との関わりを拒む住民や閉じこもりがちな高齢者が増えてきた。
- ・気軽に集える場所が少ない。

③ 地域福祉活動者の悩み

- ・活動者（役員、福祉協力員、民生委員、ボランティア等）が高齢化している。
- ・新たな活動者や若い活動者の参加、協力がなかなか得られない。
- ・地域の活動や行事などが住民に知られていない。
- ・課題を抱える高齢者（認知症）等の関わり方や支援の方法がわからない。
- ・地域団体間の連携や情報共有が不足している。
- ・男性の福祉協力員が少ない。
- ・民生委員の業務が過重。

④ まちの困りごと

- ・坂が多く車がないと不便。
- ・近所の商店が減り、買い物ができるところまでは歩くと遠い。
- ・空き家が増えてきた。雑草が生い茂るなど管理が不安。
- ・交通量が多く危ない道路がある。
- ・イノシシやカラスによる農作物の被害がある。



第3章 計画体系

1 基本理念

「誰もが安心して暮らせる支え合いのまちづくり」

上津役校区では、子どもから高齢者まで、また、障害のあるなしに関わらず、誰もが住み慣れたところで安心して生活できる“ふれあい”と“支え合い”のまちにしたいと願っています。そこで、住民一人一人の安全で安心な暮らしを守るため「誰もが安心して暮らせる支え合いのまちづくり」という言葉を上津役校区の小地域福祉活動計画の基本理念として推進していきます。

2 基本目標

■ 基本目標1 「楽しく学び 健康で明るく安心な地域にしよう」



住民一人一人に地域福祉活動を身近なものと感じてもらうため、広報紙やホームページ等を活用した啓発を行うとともに、子どもから大人まで参加できる様々な学びの機会をつくり、これからの地域福祉を担う人材を育てていきます。また、高齢者がいつまでも健康で生き生きとした生活を送れるよう、健康づくりや介護予防事業に取り組みます。

■ 基本目標2 「ふれあいの輪を広げ 地域の絆を深めよう」

子どもから高齢者まで幅広い世代が楽しく交流できるふれあいの場づくりや行事などを企画・実施します。また、支援が必要な方が地域で孤立しないよう、住民同士のつながりや人と人との絆を深めます。



■ 基本目標3 「思いやりの心で支え合おう」



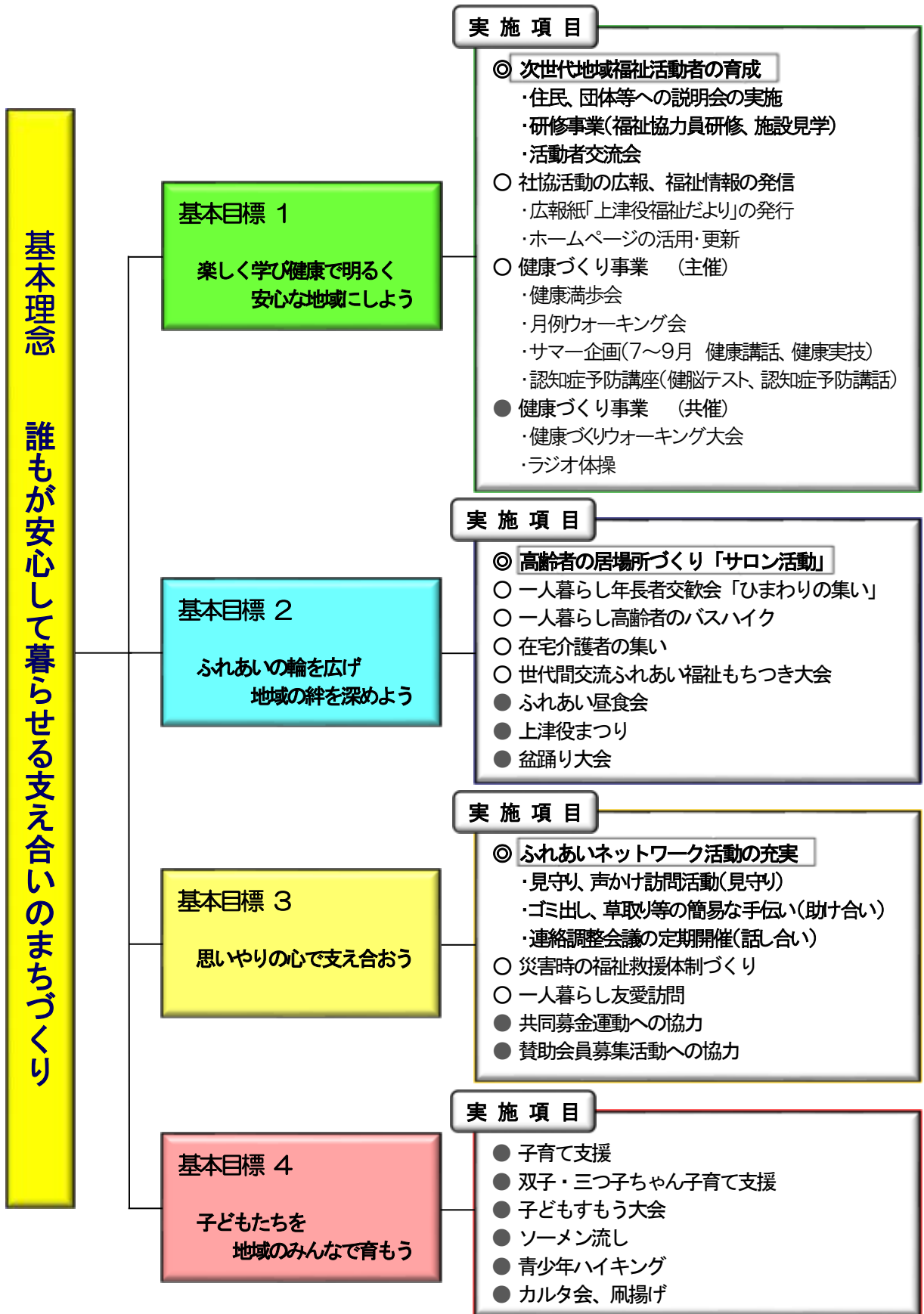
誰もが安心して暮らせるよう、公私の社会福祉関係者とも連携し、住民の主体的参加による「ふれあいネットワーク活動」を中心にした支援の輪をつくり、支え合いの地域福祉活動を進めます。また、活動財源の確保と地域福祉への協力者を増やすことを目的として、募金活動や賛助会員活動の拡充に努めます。

■ 基本目標4 「子どもたちを地域みんなで育もう」

未来の地域社会を担っていく子どもたちが、様々な喜びや感動の体験を通して伸び伸びと健やかに成長し、生まれ育った地域への愛着や感謝の心が持てるよう、安全で安心な学びや遊びの環境を整え、地域みんなで見守り、育てていきます。



3 実施項目（体系図）



※ ◎ … 重点実施項目
○ … 社協主催事業
● … 共催、協力事業等

4 重点実施項目

重点実施項目-1		次世代地域福祉活動者(福祉協力員)の育成						
1 課題背景及び地域の現状								
<p>上津役校区社協では平成6年からふれあいネットワーク活動による地域の見守りや声かけ、助け合い活動などを推進し、福祉協力員や民生委員・児童委員、自治会関係者等との連携により、高齢者や障害者等の支援をはじめ、子どもの健全育成や地域の活性化を目的とした様々な事業に取り組んできた。</p> <p>しかし、近隣や地域との関わりを持ちたがらない住民の増加や、地域活動の基盤組織である自治会への加入率低下など、人と人とのつながりやふれあいが希薄化するなか、活動の中心を担う新規福祉協力員の加入は難しく、現任福祉協力員の高齢化も進むなか、ますます複雑化・多様化する地域福祉ニーズへの対応が困難になっている状況である。</p>								
2 活動の方針・目標								
<p>地域住民一人一人に地域福祉活動を身近なものと感じてもらうため、広報紙やホームページの活用による社協活動のPRを行うとともに、現役・若手世代を含む住民や様々な地域団体の活動者などを対象とした説明会や研修会を開催する。</p> <p>また、参加しやすい(参加したくなる)活動・事業になるよう創意工夫し、活動者の負担感を軽減することで「出来る人が、出来ることを、少しずつ…」のお互いに協力し合える、支え合いの地域風土を醸成し次世代地域福祉活動者を発掘・育成する。</p>								
3 段階的な取組みの年次計画								
取組み内容	連携する機関	H28	H29	H30	H31	H32	備考	
社協活動・事業のPR強化 (広報紙、ホームページの活用)	自治区会 市・区社協						様々な媒体を活用した、活動情報の発信	
事業・活動の見直し・検討	自治区会 まちづくり協議会						既存の事業・活動を見直し、参加しやすい取り組みへ	
説明会(住民・団体)の実施 新規参加者の加入促進	自治区会 学校・PTA 地域住民 市民センター							地域や福祉関係団体の他、クラブや施設、企業等へも協力を依頼
新任研修会の実施	市・区社協 関係機関・団体							理解を深め、地域への愛着を育む
連絡調整会議をはじめとした話し合いの場の充実	社協構成団体 関係機関・団体						情報を分かち合い、学びと共感を深めるチームづくり	
活動者交流会の開催	社協構成団体 関係機関・団体 ボランティア等							ふれあいと絆を深め、楽しく活動を継続できる場づくり
活動点検・評価・見直し	社協構成団体 関係機関・団体 地域住民						計画の中間年度の見直しと最終年度の総括	

重点実施項目-2		高齢者の居場所づくり「サロン活動」						
1 課題背景及び地域の現状								
<p>上津役校区では近年、マンションや新興住宅地の開発等で若年層人口が若干増えてきてはいるものの、依然として北九州市の平均よりも高齢化率は高く、特に古くからの住宅地や集合住宅では高齢者が多く、また、独居や高齢者のみ、昼間一人のみ世帯が急増し、閉じこもりがちな人も増えている。福祉協力員や民生委員の見守り、声かけ活動の際にも、「話し相手がいない。」「寂しい。」「行く所がなくずっと家にいる。」といった声も報告されており、住民同士のつながりやふれあいが一層求められている。一方で、気の合う仲間と趣味の活動を楽しむ比較的若い高齢者グループも多く存在しているが、その情報が発信されておらず、参加者が固定している状況にある。</p>								
2 活動の方針・目標								
<p>市民センターから遠く、集にくい高齢者も多いため地域別に身近な居場所として活用できる施設やスペースを洗い出し、高齢者が気軽に集え、仲間づくり、生きがいづくりができる居場所(サロン)を開設・運営する。また、趣味の活動を楽しむ既存のグループ等との連携を図り、相互の活動への参加促進や情報提供等の協力関係をつくるとともに、新たな活動者の発掘、育成を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各自治区に最低一か所のサロンを開設(計6か所)し、月2回の運営を行う。 ・高齢者だけではなく、障害のある方や子育て世代をはじめ、誰もが交流できるサロンを目指す。 								
3 段階的な取組みの年次計画								
取組み内容	連携する機関	H28	H29	H30	H31	H32	備考	
説明会(住民・団体等) 類似事業・団体の情報収集 と高齢者等への情報提供	自治区会 地域住民 まちづくり協議会 市民センター クラブ 施設・企業等	→						各団体・機関との連携強化 健康や生きがいづくりに役立つ事業・活動の情報収集と発信
会場の選定	自治区会 まちづくり協議会 施設・企業等	→						参加しやすく、運営しやすい会場の選定
運営方針、組織づくり	自治区会 民児協 まちづくり協議会	→						拠点ごとの運営の仕組み、役割分担、財源の確保等
広報、宣伝活動	自治区会 民児協 市民センター	→						広報紙、チラシ、声かけ、口コミなどによる参加勧奨
サロン支援員の募集・養成	社協構成団体 関係機関・団体	→						既存のクラブ活動者や若い世代の発掘、育成
新規サロンの開設 既存のサロンの充実・支援	社協構成団体 関係機関・団体 ボランティア等	→						6自治区会ごとに最低一か所のサロンを設置
拠点ごとの点検・評価	社協構成団体 関係機関・団体 住民・参加者			→		→	計画の中間年度の見直しと最終年度の総括	

第4章 計画の推進

1 計画の承認と周知

- (1) 上津役校区社会福祉協議会の総会等を通じた社協活動者への計画の承認と周知
- (2) 計画の実施項目を進めていく上での関係機関・団体への周知・協力依頼
- (3) 計画書概要版の配布や広報紙、ホームページへの掲載等を通じた住民への周知など、計画を推進していくために、この計画の広報活動を行います。

2 計画を推進するための体制

(1) 小地域福祉活動計画推進委員会の設置

計画を推進していくために、上津役校区小地域福祉活動計画推進委員会（以下、「推進委員会」という。）を設置し、計画の進行管理を行います。

- ① 関係機関・団体との連携
- ② 計画内容の具体的な実施方法
- ③ 進行管理の実施

(2) 計画の進行管理（モニタリング）

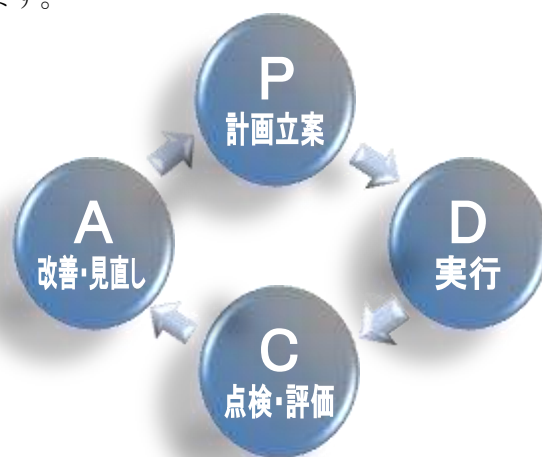
推進委員会を年1～3回程度開催し、次の点について確認します。

- ① 当年度の事業推進の確認
- ② 年度内における中間確認
- ③ 次年度の事業確認

また、推進委員会では、PLAN（計画立案）、DO（実行）、CHECK（点検・評価）、ACT（改善）というPDCAのサイクルを回しながら、計画内の各実施項目の進捗状況を把握し、計画通り進行していない場合には、その原因を明らかにし、問題への対策を立て、その対応策を実施します。

(3) 計画の評価

計画中間時点では計画全体の中間見直しを、最終年度には総括評価を行います。



3 第二次計画の策定

第一次計画の進捗状況を踏まえて、第二次計画の策定期（第一次計画の最終年度：平成32年度）には、新たに第二次計画策定委員会を設置し、次期計画策定に向けての協議を進めていきます。

4 上津役校区小地域福祉活動計画推進委員会委員

策定委員会の委員が引き続き推進委員として計画の進行管理を行います。各選出母体での異動等があれば、随時見直しを行います。

参考資料〔上津役校区小地域福祉活動計画策定経過〕

1 上津役校区小地域福祉活動計画策定委員会 委員名簿

	氏名	所属団体など	役職	備考
1	久保田 雅晴	上津役校区社会福祉協議会	会長	策定委員長
2	江頭 昭弘	上津役校区社会福祉協議会	副会長	選考委員
3	田中 嘉典	ふれあいネットワーク部	副部長	選考委員
4	寺田 幸代	ふれあいネットワーク部	会計	選考委員
5	坂井 紀子	民生委員・児童委員		選考委員
6	穴田 カヨ子	民生委員・児童委員		選考委員
7	百武 徹	上津役まちづくり協議会	会長	選考委員
8	加来 武則	上津役校区社会福祉協議会	副会長	選考委員
9	権藤 宇一	上津役校区社会福祉協議会	副会長	
10	尾中 節子	民生委員・児童委員	民児協会長	
11	片岡 雅子	民生委員・児童委員		
12	香月 健二	民生委員・児童委員		
13	森 幸代	民生委員・児童委員		
14	今井 君子	民生委員・児童委員		
15	甲斐 美智子	民生委員・児童委員		
16	仙崎 説子	民生委員・児童委員		
17	清水 幸子	民生委員・児童委員		
18	林 隆康	民生委員・児童委員		
19	福間 敏彦	上津役まちづくり協議会	副会長	
20	高木 輝政	上津役まちづくり協議会	副会長	
21	大下 サエ子	上津役ボランティアの会	会長	
22	西野 竜一	上津役小学校PTA	会長	
23	原田 圭子	主任児童委員		
24	鍋内 亜希子	(前)主任児童委員		
25	長濱 清重	ふれあいネットワーク部	福祉協力員	
26	西村 正利	ふれあいネットワーク部	福祉協力員	
27	湯川 勝子	ふれあいネットワーク部	福祉協力員	
28	福間 由美子	ふれあいネットワーク部	福祉協力員	
29	高山 和子	ふれあいネットワーク部	福祉協力員	
30	谷口 直樹	ふれあいネットワーク部	福祉協力員	
31	豊沢 淳一	上津役市民センター	館長	

2 策定委員会での協議事項

回	開催日	主な協議事項
1	平成 27 年 6 月 2 日	第 1 回ふくしプランニング工房 講義：小地域福祉活動計画策定の意義について 演習：地域の福祉課題の抽出・整理（カードワーク）
①	平成 27 年 6 月 22 日	<ul style="list-style-type: none"> ・小地域福祉活動計画の趣旨について ・策定委員会委員の人選について
②	平成 27 年 7 月 31 日	<ul style="list-style-type: none"> ・策定委員会委員の顔合わせ ・小地域福祉活動計画の意義と策定の進め方について
③	平成 27 年 8 月 28 日	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉課題の抽出（カードワーク） ・基本計画体系図の作成
④	平成 27 年 9 月 28 日	<ul style="list-style-type: none"> ・基本計画体系図の確認・見直し ・課題の整理と今後の策定日程、作業の確認
2	平成 27 年 10 月 2 日	第 2 回ふくしプランニング工房 講義：基本計画（体系図）と重点実施項目 演習：重点実施項目を選び実施計画をつくる
⑤	平成 27 年 11 月 25 日	<ul style="list-style-type: none"> ・地域のいいところ探し（カードワーク） ・計画書の構成（イメージ企画案）の検討 ・地域の社会資源の確認
⑥	平成 28 年 1 月 25 日	<ul style="list-style-type: none"> ・重点実施項目の選定と実施計画の策定 ・計画実施項目（体系図）の整理
⑦	平成 28 年 2 月 22 日	<ul style="list-style-type: none"> ・計画書（素案）の校正、編集
3	平成 28 年 3 月 11 日	第 3 回ふくしプランニング工房 各校区からの計画書（最終案）発表 講義：計画の推進、広報について
⑧	平成 28 年 4 月 25 日	<ul style="list-style-type: none"> ・完成発表 ・計画の推進、広報について



ごあいさつ

上津役校区社会福祉協議会の未来を方向付ける福祉活動の基本方針を決めるため「小地域福祉活動計画づくり」策定委員会が約一年間、月一回のペースで協議を重ねてまいりました。

この策定委員会において上津役校区における様々な課題が提起されましたが、その中で次の二点が今後五年間の重点実施活動項目として決定されました。

- ① 次世代地域福祉活動社会福祉協議会（福祉協力員）の育成
- ② 高齢者の居場所づくり（サロン活動）

この二つの項目は地域住民の高齢化、そして、福祉協力員自体の高齢化という事態に対応すべく活動を進めていこうとするもので、上津役校区社会福祉協議会を中心に様々な地域活動人材を結集して、老後も安心して暮らせる地域を目指し取り組んでまいります。

上津役校区にお住いの皆さまのご協力、ご支援を心よりお願いいたします。

上津役まちづくり協議会
会長 百武 徹



平成 28 年 4 月 25 日(月) 第8回上津役校区小地域福祉活動計画策定委員会 終了後撮影

小地域福祉活動とは？

わたしたちのまちにはいろいろな人たちが住んでいます。

お年寄りや障害を持っている人、子どもたちなど、地域みんなが元気に安心して生活していくためには、家族の努力や公的なサービスだけではむずかしいことがあります。

そこで、地域のボランティア活動や助け合い活動などを調整したり、新たに生み出したり、支え合いの仕組みをつくったりすることが必要になり、これを小地域福祉活動といいます。

小地域福祉活動は、自治会や小地域を基盤に行われる住民が参加する福祉活動で、北九州市では小学校区を基本単位としています。地域のいろいろな組織や住民一人一人が地域の問題解決のため、みんなで力を合わせて進めていきます。

校(地)区社会福祉協議会は、小地域福祉活動の要として、地域で生活している幅広い人たちで構成されています。「自分たちの地域の福祉課題は、自分たちが解決していく！」という熱意を持ち、市・区社会福祉協議会と連携しながら、住民主体の福祉のまちづくりを推進しています。

★社会福祉協議会のイメージキャラクター★

『プチボザウルス』(Petit vo saurus)



Petit (プチ：ちっちゃな)
Volunteer (ボランティア)
Saurus (サウルス≡恐竜)

上津役校区社会福祉協議会

〒807-0071 北九州市八幡西区上の原2丁目2番16号 上津役市民センター内

TEL:093-612-3568 FAX:093-612-3568

ホームページ <http://www.kitaq-shakyo.or.jp/yahatanishi/kojaku/>

上津役校区社協

検索

八幡西区社会福祉協議会

〒806-8510 北九州市八幡西区黒崎3丁目15番3号 (コムシティ6階)

TEL:093-642-5035 FAX:093-642-5077

ホームページ <http://www.kitaq-shakyo.or.jp/yahatanishi/>

八幡西区社協

検索

北九州市社会福祉協議会

〒804-0067 北九州市戸畑区汐井町1番6号 (ウェルとばた8階)

(代表)TEL:093-882-4401 FAX:093-882-3579

(福祉部)TEL:093-873-1296 FAX:093-873-1351

ホームページ <http://www.kitaq-shakyo.or.jp/>

北九州市社協

検索